

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	月に1～2回の法人内研修が行われており、その研修への参加はできているものの、新規開設事業所という事もあり、外部研修には、積極的に参加できていない。	入居者がそれぞれの意向で生活を送ることができるよう支援し、さらなるニーズの発掘を行いながら、より質の高い支援を行う。	入居者それぞれの支援の実践、新たなニーズの発掘など、より質の高い支援を行う上で、外部研修は大きな意味を持っている。今後は積極的に参加し、職員のスキルアップを目指す。	3ヶ月
2	23	「入居者の意向に添った支援」を念頭に、日々努めているものの、まだ把握できていないニーズや意向がある。	入居者それぞれの、発掘しきれていないニーズや意向を引出し、「それぞれの当たり前前の生活」が送れるよう支援する。	日常の会話やさりげない仕草など、より注意深く観察し、発掘しきれていないニーズや意向の把握に努め、それを支援に活かしていく。	ヶ月
3	48	生活歴などを考慮し、ホーム内での役割を担っている入居者もあるが、全員の役割の抽出には至っていない。	支援を行いながら、入居者それぞれの能力や特技等を把握し、それらを活かした役割を担ってもらう。	日常の会話やさりげない仕草など、より注意深く観察し、発掘しきれていないニーズや意向の把握に努め、それを支援に活かしていく。	ヶ月
4	49	個別にドライブや買い物に出かけたり、誕生日外出などを行っているものの、外出機会が多いとは言えない状態である。	時の見当識への対応や気分転換、ストレス発散など、外出機会を多く持ち、生活意欲の維持・向上を目指す。	入居者それぞれの希望に合わせ、日常的な外出も含め積極的に支援していく。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。